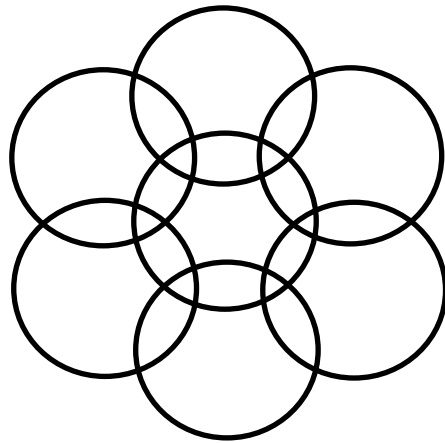


平成23年  
七飯町の交通事故発生状況



七 飯 町  
七飯町交通安全推進委員会

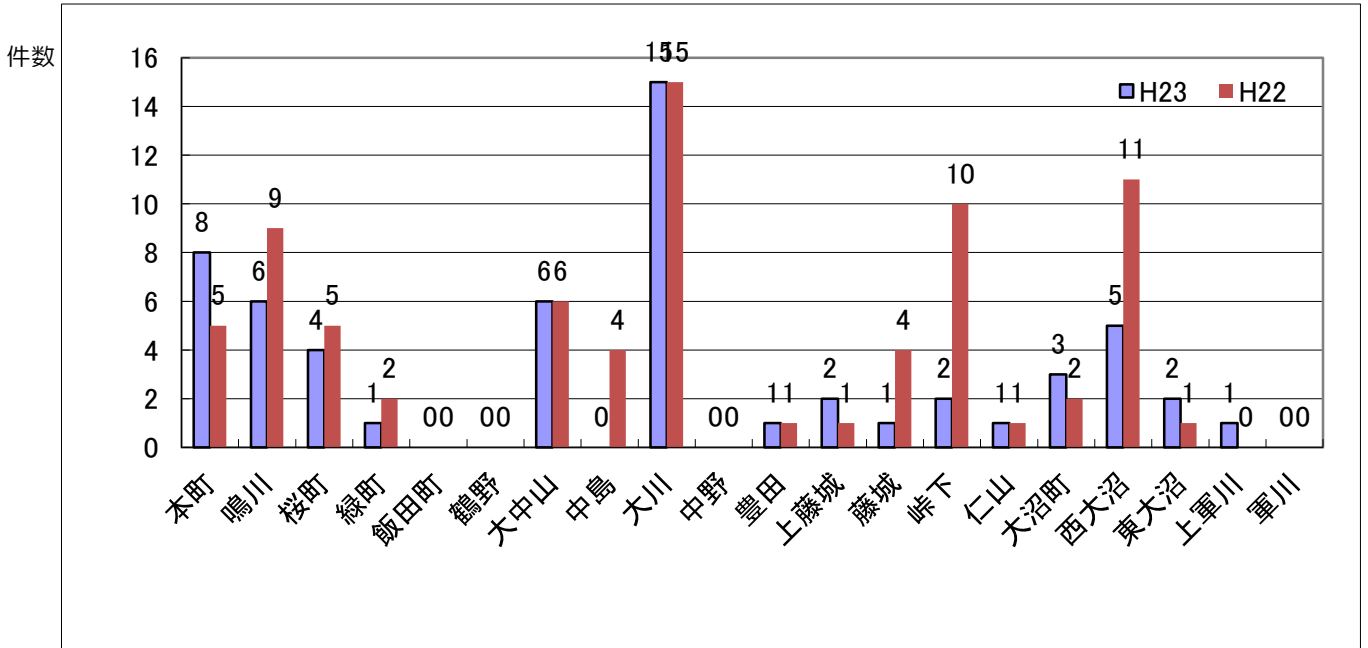
☆ 平成23年の七飯町内の交通事故発生状況 ☆

1. 交通事故発生件数と死傷者数の状況

	件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
平成23年	58	1	8	69
平成22年	77	4	17	82
H22との比較	-19	-3	-9	-13

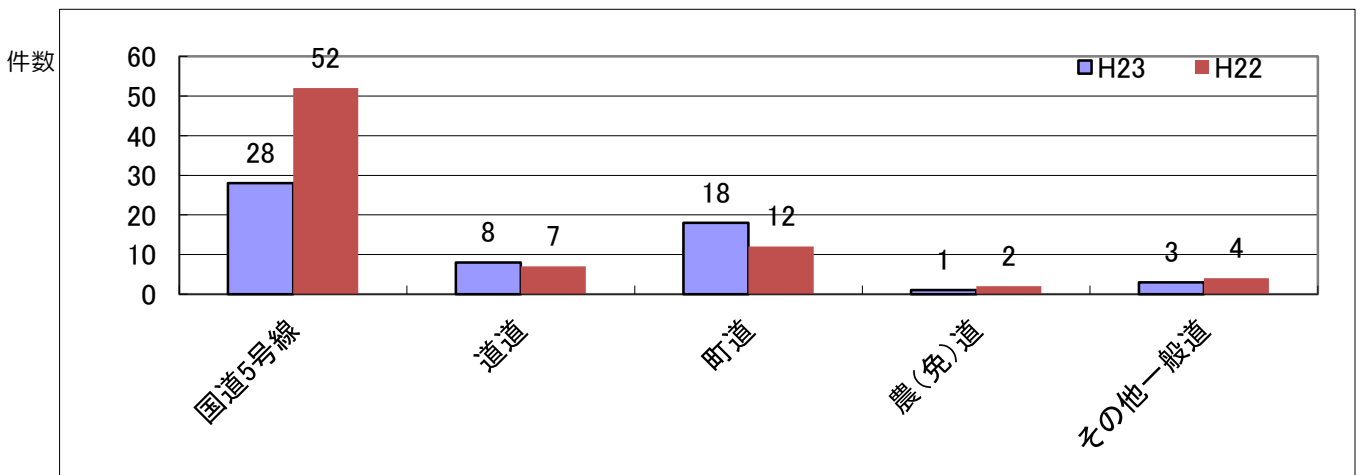
- ・平成22年と比較すると、発生件数、傷者数、死者数、全てにおいて減少となりました。

2. 地域別の交通事故発生状況



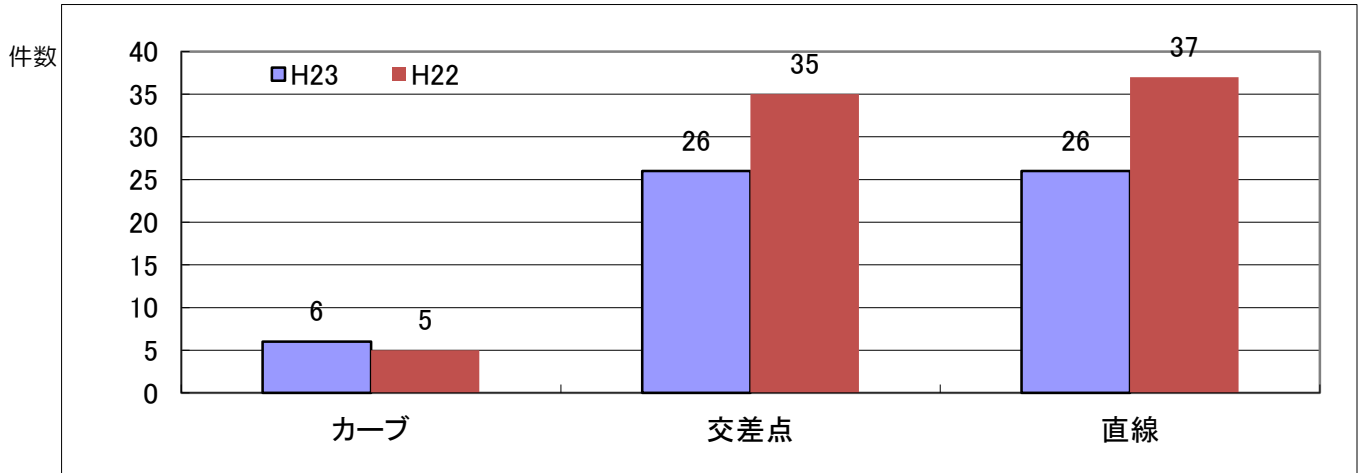
- ・大川地区の交通事故が平成22年と同様、15件と最も多かったものの、藤城、峠下、西大沼などの国道5号線付近を中心とした「通過型」による交通事故は減少しました。

3. 道路別の交通事故発生状況



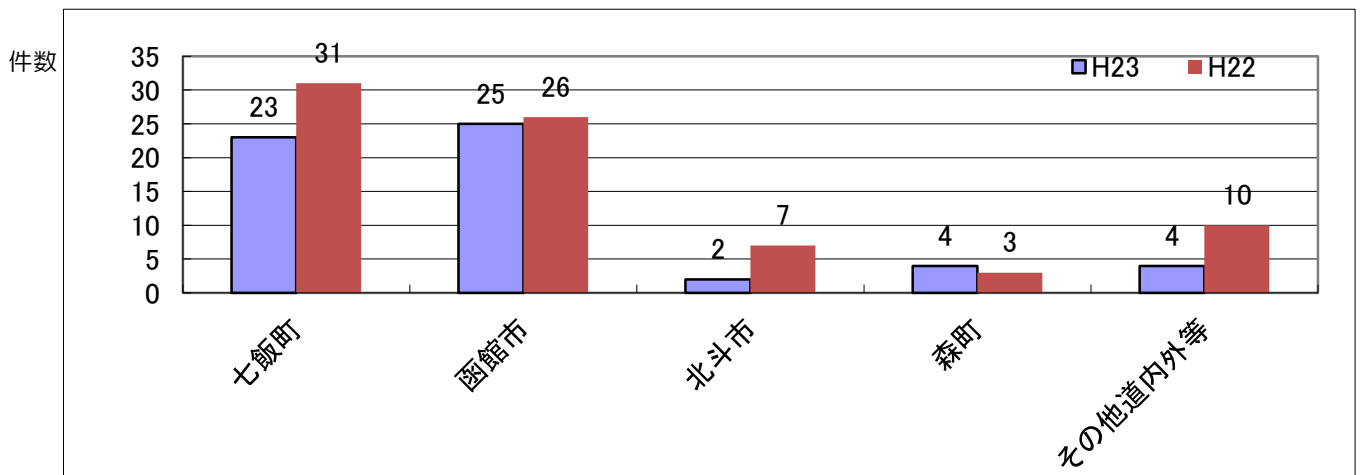
- ・平成22年に52件で68%を占めていた国道5号線による事故は28件(48%)と減少しました。続いて町道が18件(31%)、道道8件(13%)と続けております。

#### 4. 交通事故発生現場の形態



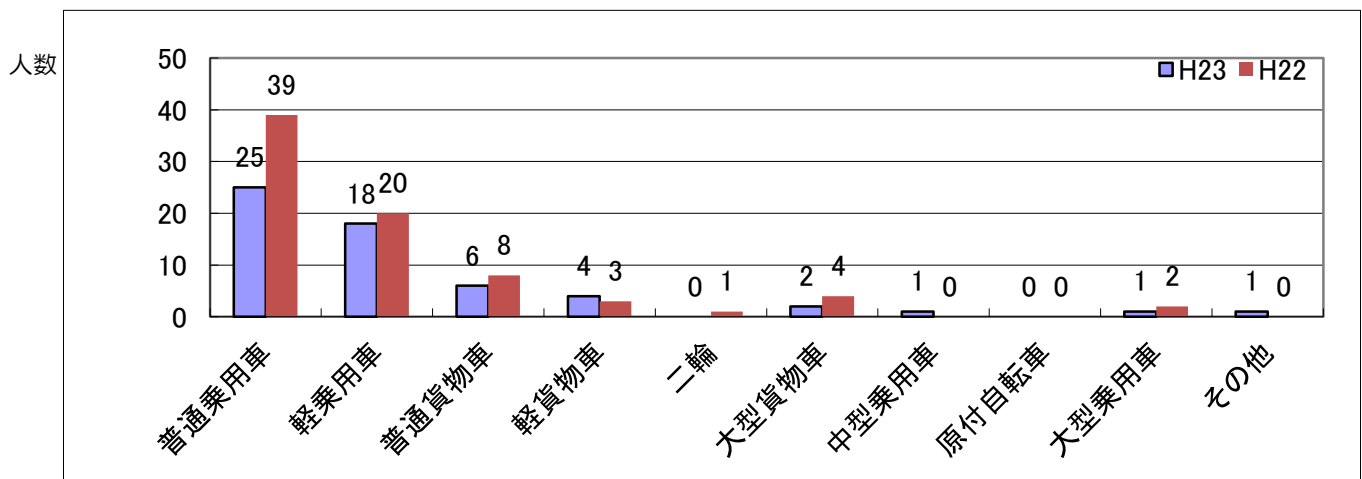
- 直線と交差点での交通事故がそれぞれ26件と全体の45%を占め、カーブでの発生は6件(10%)となっています。

#### 5. 第一当事者(事故を起こした人)の居住地



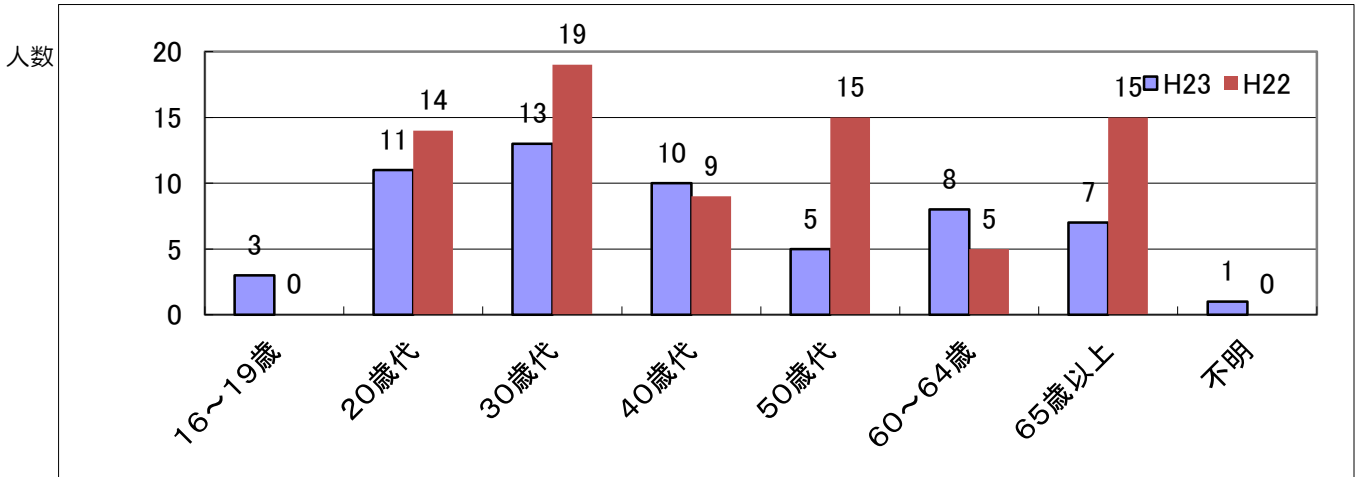
- 58件中、23件(40%)が七飯町民の方であるものの、25件(43%)は函館市、2件(3%)が北斗市、4件が森町(7%)、その他が4件(7%)となっており、町民の方以外の事故が60%を占め、依然として「通過型」による交通事故が発生しています。

#### 6. 第一当事者(事故を起こした人)の種別



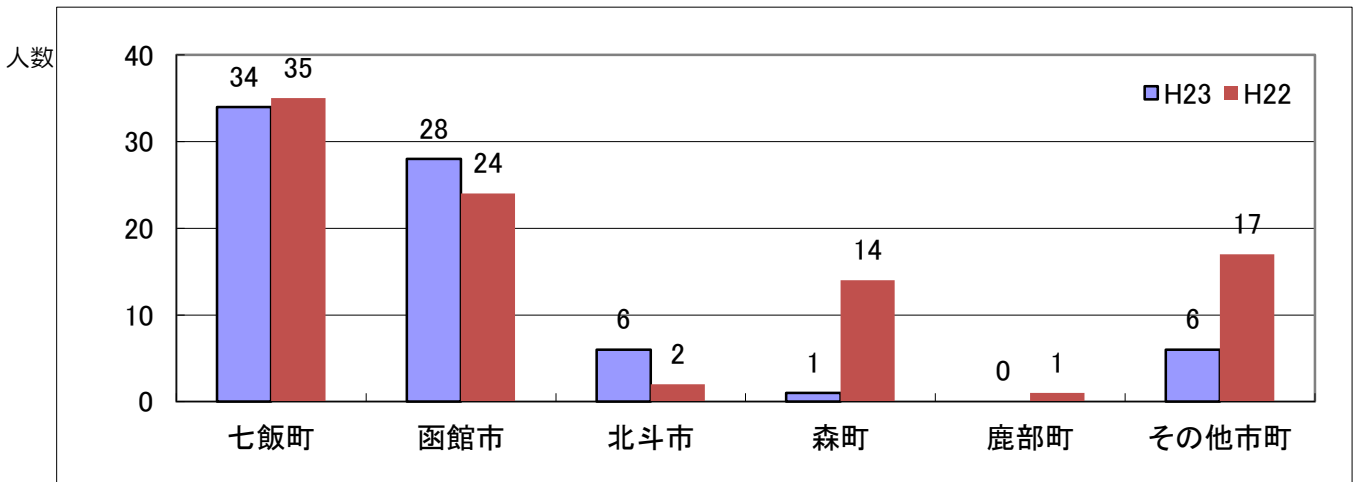
- 普通乗用車が25件(43%)と最も多く、続いて軽乗用車18名(31%)となっています。

## 7. 第一当事者（事故を起こした人）の年代別



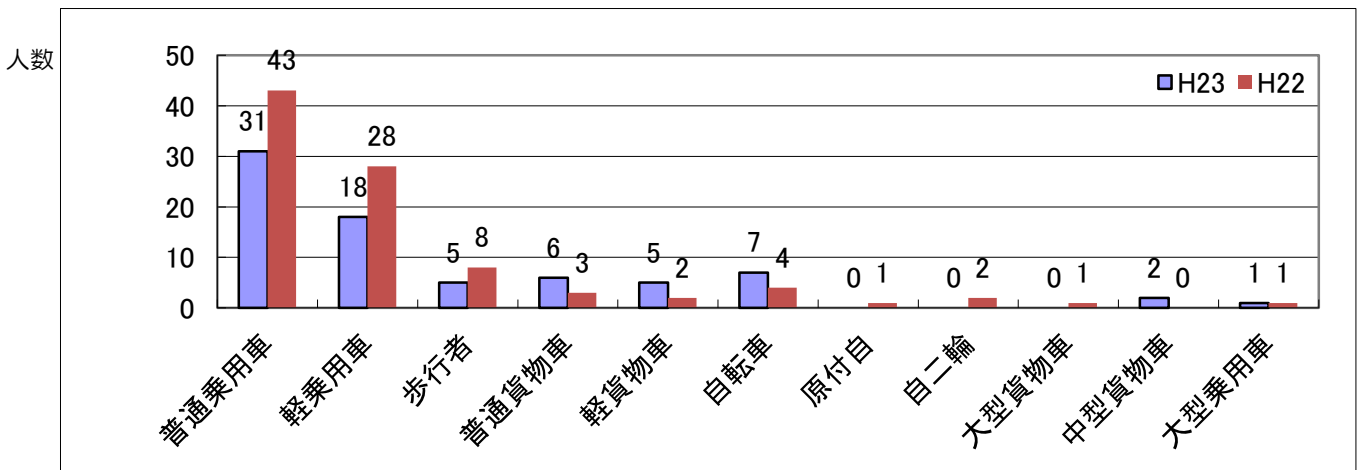
- 30歳代が13名（22%）と最も多くなっています。免許を取得し、運転に慣れた世代での事故が目立ちます。全道で多発した高齢者の方（65歳以上）による事故は7件（12%）に止まりました。

## 8. 第二・第三当事者（被害に遭った人）の居住地



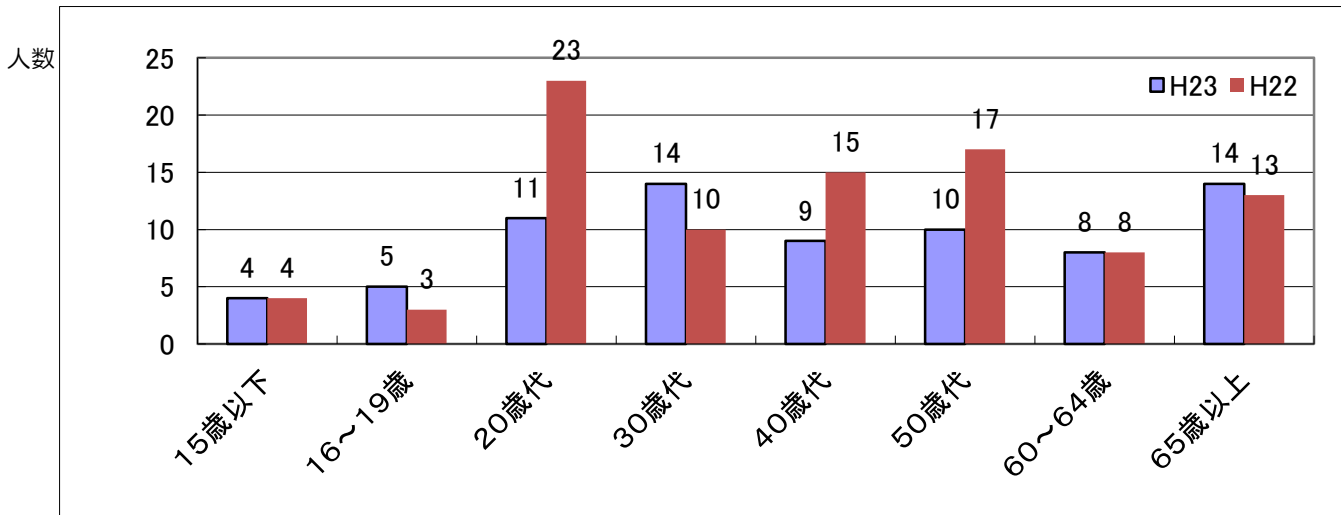
- 被害に遭われたのは、七飯町民が34名（45%）と最も多くなっています。続いて函館市28名（37%）、北斗市、その他市町がそれぞれ6名（8%）の順となっています。

## 9. 第二・第三当事者（被害に遭った人）の種別



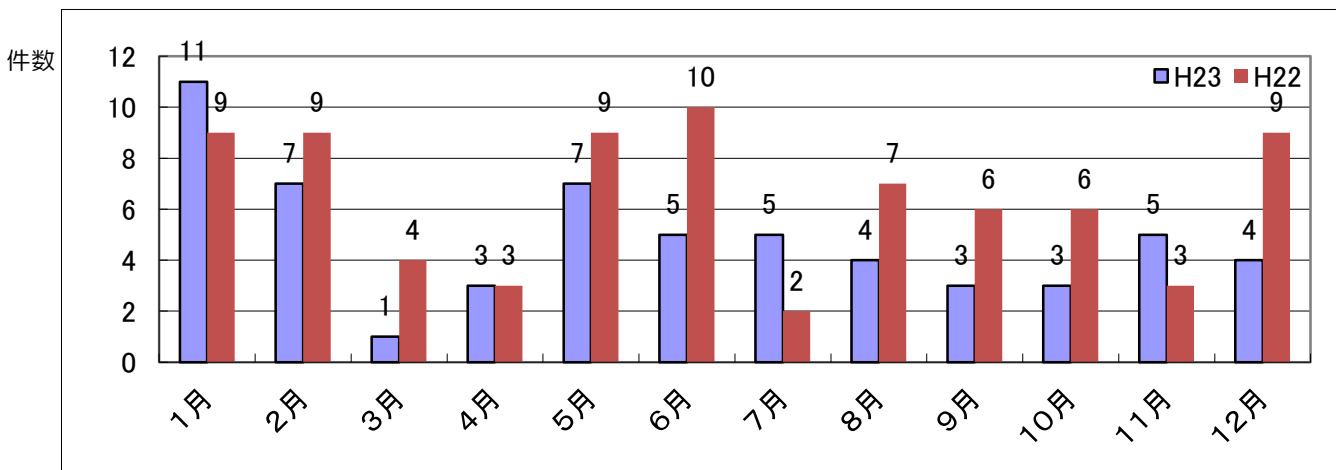
- 普通乗用車が31名（41%）、軽乗用車が18名（24%）となっています。歩行者、自転車利用者が被害に遭うケースは平成22年と同数の12件でした。

## 10. 第二・第三当事者（被害に遭った人）の年代別



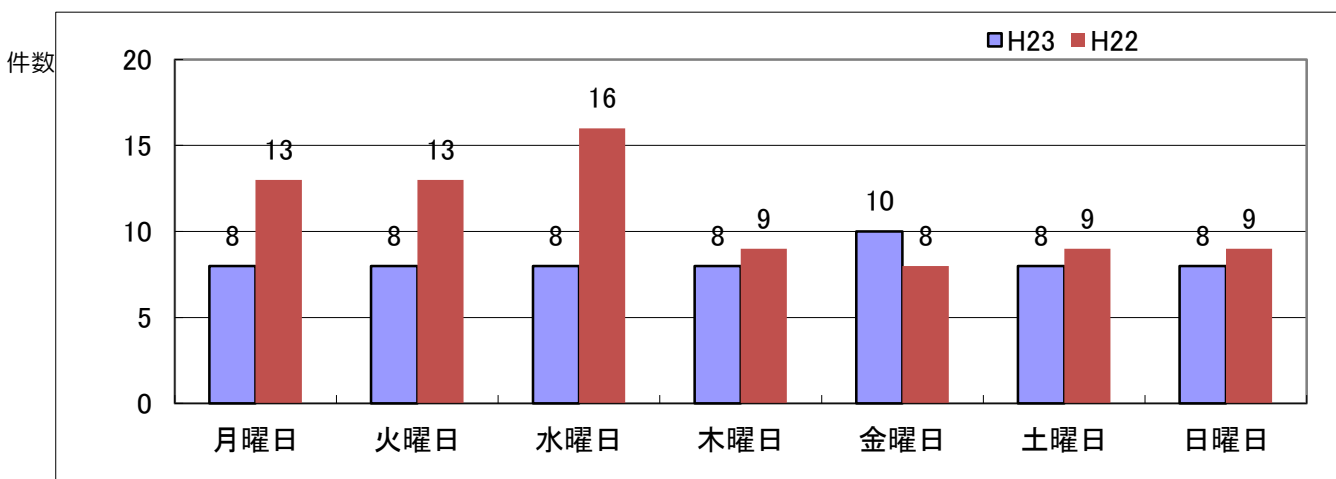
- 平成22年に比較すると全体的に減少傾向となりました。ただ、高齢者の方が14名（19%）と、依然として高い数値のままとなっています。

## 11. 月別の交通事故発生状況



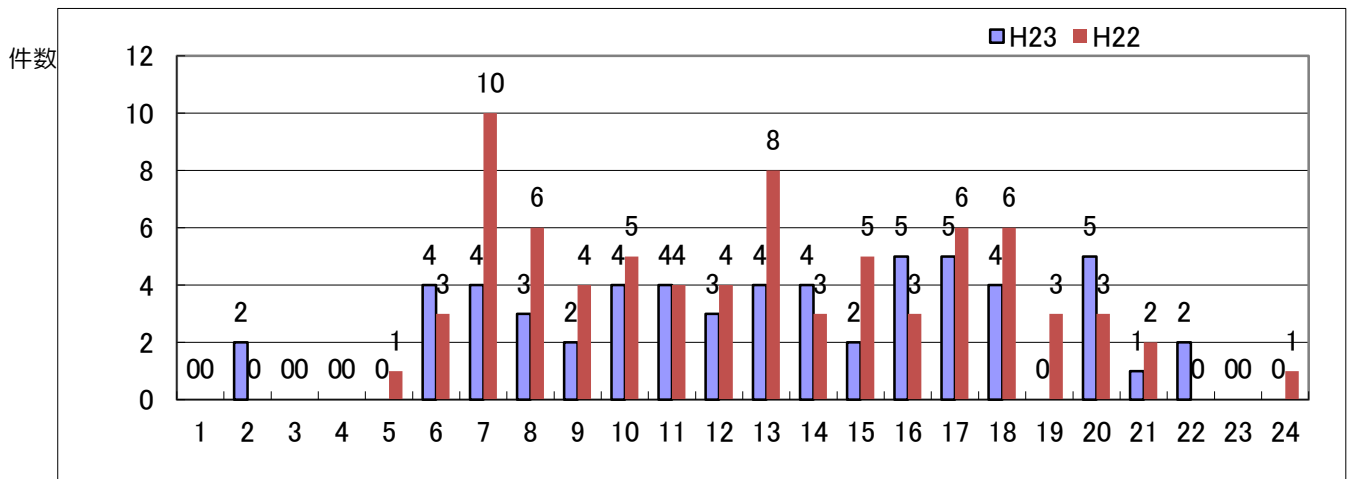
- 1月、2月のスリップなどが原因と思われる事故の発生を抑止することが課題となっています。

## 12. 曜日別の交通事故発生状況



- 金曜日以外の全ての曜日において減少傾向となりました。

### 13. 時間帯別の交通事故発生状況



・最も多かった7時、続いて多かった13時代での事故が減少しました。

～ まとめ（平成24年 町内の交通事故対策）として ～

- 歩行中、自転車乗用中の交通事故を防ぐ為、特に交差点通行時は周囲に気を配りましょう。また、ドライバーも交差点での右左折時には、歩行者、自転車利用者を巻きこまないよう、死角などにいないか注意しましょう。
- 自動車運転時は直線でも要注意です。周囲に気を配り、安全な車間距離を取りましょう。
- 自転車利用者、ドライバーの方は、「人（歩行者）優先」の交通マナーを遵守し、自分本位の運転はやめましょう。
- 歩行者は、無理な道路横断などはせず、少し遠回りでも横断歩道を利用しましょう。また、夕方から夜間にかけての薄暮時間帯には注意をし、ドライバー等に発見されやすい明るい服装を心がけ、夜光反射材を活用しましょう。